

# 平成27年度事業計画

一般財団法人 日本ボクシングコミッション

## 1 業務管理について

- (1) JBCルールブックの改正
- (2) JBC職員の各種規則・規定の改定、整備をする。
- (3) 業務管理の適正化を推進する。
- (4) 査定制度の導入

## 2 ボクシング優秀選手表彰式の開催

平成27年1月23日(金) 後樂園ホールにて開催予定

プロボクサー、アマチュアボクサー、およびボクシング関係功労者の表彰

## 3 試合管理について

- (1) ボクサー、マネージャー、プロモーター、トレーナー、セコンド他ボクシング関係者に対する資格審査ならびにライセンス発行業務。  
新規ライセンス取得者に対する講習会の実施を行い、セコンドやトレーナーだけでなく、全てのライセンス保持者にルールの改正点や細かなルール解釈などを理解してもらえるように努める。
- (2) ボクシング試合開催に対する試合契約の承認、開催許可、試合の管理・運営。
- (3) 日本ランキングの決定、発表。
- (4) 試合役員研修会(月例)  
審判技術の向上、安全対策その他試合全般に対しての研修。特に地区試合役員会との交流を通じて技術研修の強化を図る。  
構成：審判、検査員、進行、アナウンサー、タイムキーパー、ドクター他コミッション役員、日本プロボクシング協会役員(オブザーバー)
- (5) 全国試合役員会の開催  
今年度開催された7月の東京地区試合役員会で、各地区の代表者が出席し、一步前進した。それを踏まえたうえで、27年度は各地区の代表者だけでなく、末端の試合役員全て参加のもと、反則減点などの対処を一律化し、地区毎にバラつきのある基準に対してしっかりと議論し、統一することを図る。
- (6) 審判員養成機関の設立  
各地区が独自に採用・指導している審判員を一元的に管理していく。具体的には、同一指導者による講習、ルール知識確認のための試験の実施。また将来的には審判学校を設立し、審判員の更なるレベルアップを図る。
- (7) JBCルールの改正  
現在、3ノックダウン制を採用しているJBCルールであるが、フリーノックダウン制の採用に関して、議論を行う。

## 4 選手の健康管理及び安全防護について

- (1) リング事故防止のために安全対策ならびに、これらに関する諸規則の衆知徹底を期す。その方策として、
  - (A) 試合出場選手の健康管理について指導をさらに継続強化していく。

- (B) ヘッドバッティングなど対戦者に深刻なダメージを与える重大反則には厳しく対処する。そのためにレフェリーを始め関係者に対する指導を徹底する。
  - (C) 早期レフェリーストップによって頭部外傷からリング事故防止に努める。
  - (D) 選手の直接指導にあたるトレーナー、マネージャー等に対して、選手管理に万全を期させるための一環として医事講習会、審判講習会などの開催を積極的に行う。また特に東京・関西地区以外で医事講習会が数年行われていないので、27年度は積極的に開催できるよう努力する。
- (2) 試合でダメージを受けたボクサーに対してCT（又はMRI）を含む精密検査の実施により、二次的なダメージの防止につとめる。また、ボクシング不適格者基準を整備し事故の事前防止に努める。
  - (3) 健康管理委員会の開催  
安全に関する海外の情報、資料の収集をはじめ、関係諸団体との国際交流を積極的にすすめ、日本ボクシングの発展に寄与せしめていく。  
特にJBCコミッションドクターの研究の成果、データ等を内外のボクシング関係者ならびに諸団体に発表する機会を設ける。  
コミッションドクターを主体として、コミッション役員、試合役員、ボクシング協会メンバーの出席をも必要に応じて求める。  
研究成果の発表ならびにボクシング関係者に対して指示、通達を行う。
  - (4) 安全防護・健康管理に対して日本プロボクシング協会（JPBA）との共催で合同医事講習会を開催する（恒例）。  
ジム内での事故防止、安全防護の徹底を企図しトレーナー講習会を実施する。
  - (5) 第二回全国ドクター会議の開催  
全国のコミッションドクターによる各種講義、研究発表の場の提供をもってドクター間の情報交換、情報共有を図る。
  - (6) 網膜剥離や網膜裂孔を患ったボクサーについて  
網膜剥離や網膜裂孔により現役引退を余儀なくされたボクサーの復帰について、JBC指定の大学病院にて検診を受け、何人かのボクサーが復帰を果たした。今後も復帰した選手の動向を追いながら、改めて検証を行っていきたい。
- 5 女子ボクシングの活性化  
2008年度のプロ化に伴い、より一層の活性化を図る。
  - 6 ジュニア層（15歳以下）のボクシングの活性化  
JPBAと協力しジュニア層のボクシングの活性化を図る。第8回U-15全国大会をJPBAと共催で2015年9月6日（日）に予定（後楽園ホール）。
  - 7 紛争処理について  
試合契約その他ボクシングに関する事項について、ライセンス者からの提訴の受理、調停ならびに裁定業務の推進（JBCルール114条）。また、紛争を予め防止するためJBCルール所定の契約書の作成等について指導する。

## 8 国際交流について

- (1) WBA（世界ボクシング協会）第93回年次総会開催予定。
- (2) WBC（世界ボクシング評議会）第53回年次総会開催予定。
- (3) IBF（国際ボクシング連盟）第32回年次総会開催予定。
- (4) WBO（世界ボクシング機構）第28回年次総会開催予定。
- (5) OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）第54回年次総会開催予定。  
上記年次国際会議にJBC代表を送る。
- (6) 前記の国際組織ならびに加盟諸国との連携を強化、相互の友好促進に努め、ボクシングの正常な発展と国際親善の高揚に役立つ。
- (7) 2009年1月1日より、OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）の幹事国としてタイトル承認、ランキング発表等を行う一方、ボクシングを通じてアジア・オセアニア地区諸国との国際親善を図ってきたが、来年度よりフィリピンが幹事国になる。

## 9 アマチュア団体との連携協力について

プロ・アマの連絡機関を通してボクサーの安全対策並びに両者の技術の向上に関して意見交換を行う。

## 10 ボクシングに関する内外資料収集、保存、調査、研究について

ボクサーの戦績記録他各種記録、医事情報のデータベース化を図り事務処理等の迅速な対応を可能にする。

## 11 ホームページの拡充、機関誌（ボクシング広報）の発行（月刊）、ルールの改編及びボクシング年鑑発行その他広報活動をより充実させ、このスポーツの認知、理解を社会一般に求める。

## 12 コンプライアンスの徹底について

JBCライセンスの発行の条件として、「暴力団等反社会的勢力ではないこと等に関する表明・確約書」を提出させる。

## 13 健康管理見舞金制度の改定

JBC認定試合において、選手からの健康管理見舞金の徴収を止める。但し、健康管理見舞金は、従前通り支払う。

## 14 収支の適正環境の検討

各経費、および各種料金の中、ライセンス料金の見直しを検討する。